



中小企業診断士入門講座 上ケ原

プロの経営コンサルタントを目指す。

【中小企業診断士とは?】

中小企業診断士は国家資格で、日経産業新聞の調査によると企業が社員に取得して欲しい上位資格にもランキングされており、学生時代に取得を目指す人も最近増えてきている資格です。

中小企業診断士は、一言で言えば経営コンサルタントとして必要な実力を保持していることが認められている人ということになります。具体的には、「企業経営者に対して経営上のアドバイスとサポートを行う」プロの経営コンサルタントですが、経営者にアドバイスができるということは、自らもビジネスプラン(事業のアイデア)を持った「優れたプロの経営者にもなれる」ということです。これからの企業経営者に求められること、それは世の中及びライバルを客観的に分析し(敵を知り)、自社の強みや弱みを分析したうえで(己を知る)、勝ち残るための戦略を構築する力とその実行力といえるでしょう。中小企業診断士の役割は、企業からの依頼をもとに企業の経営状態について診断し、診断結果の報告やアドバイスをすることです。中小企業診断士になるために勉強することは、企業経営を深く理解し、自らがこの競争社会を勝ち抜く力を身につけられるということ。マーケティング、財務、法律、人事管理など多岐にわたる知識を持つ人物はまさに企業が求める人材そのものです。中小企業診断士資格取得によって、より重要な責任ある業務をまかせられるなど、企業内でも高く評価されています。ビジネスモデルが複雑になっている現代において、中小企業診断士活躍の場は広がっています。

【講座概要・特色】

中小企業診断士試験の第1次試験の科目は、「A経済学・経済政策」、「B財務・会計」、「C企業経営理論」、「D運営管理」、「E経営法務」、「F経営情報システム」、「G中小企業経営・中小企業政策」の7科目です。そのための学習をすることによって、いわば、ビジネスに関する体系的な知識を身につけることができます。本講座は、本格的に中小企業診断士試験受験に向けた学習をするためのアプローチとして各科目の概略を学習し、その後の学習の理解効率を上げることを目的とした入門講座です。

コンサルティング業務に関心のある方や、まずは中小企業診断士試験科目全体の概略をつかみたい方、資格取得までの計画を立てたい方等にお勧めします。

募集定員 20名 **募集締切** 5月7日(金) **受講料** 在学・卒業生：10,000円／一般：12,000円(教材費を含む)



注意事項 本講座終了後、受講生は協力校であるTAC株式会社各校において、特別割引料金にて学習することができます。

【カリキュラム・スケジュール】

月	日	時間	講座内容
5月	17日(月)	18:50~21:30	企業経営理論概要
	24日(月)		財務・会計概論
	31日(月)		運営管理概論
6月	7日(月)	18:50~21:30	経済学・経済政策概論
	14日(月)		経営情報システム概論
	21日(月)		経営法務概論
	28日(月)		中小企業経営・政策概論

【中小企業診断士試験の概要】

中小企業診断士になるまでには、1次試験(マークシート)、2次試験(筆記・口述)、実務補習の3つのステップがあります。

【1次試験】…年齢・性別・学歴などに制限はありません。多肢選択式による筆記試験で、8月上旬の土・日曜日の2日間で実施(2020年度は7月11、12日)。

【2次試験】…受験対象者は1次試験合格者(1次試験合格年度または翌年度まで)。短答式または論文式による筆記及び口述による試験で、10月中旬または下旬の日曜日(筆記)、12月中旬の日曜日(口述)。

【実務補習】…中小企業診断士として登録を受けるには、登録の申請の前3年以内に2次試験に合格し、実務補習または実務従事を15日以上受けることが必要です。

本講座受講料に受験手数料は含まれません。

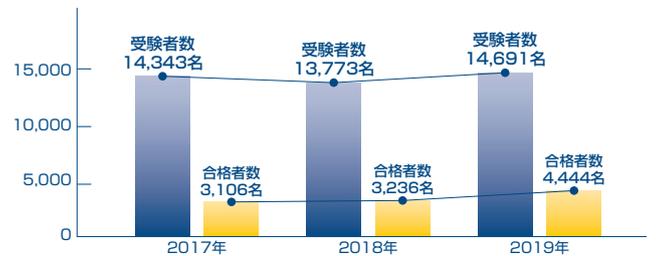


参考 一般社団法人 中小企業診断協会
<https://www.j-smeca.jp/>



過去3年間の受験者数・合格者数の推移

■ 1次試験



■ 2次試験



協力:TAC株式会社